

閉上地区まちづくり協議会 公園緑地部会(3) 議事録

日時	平成27年11月8日(日) 13:00~15:10
場所	名取市復興区画整理課会議室(仙台法務局名取出張所3階)
テーマ	第3回中央公園計画づくりワークショップ
出席者	(代表世話役)針生勉、(世話役)宇佐美久夫、(公園緑地部会長)大宮理香、高橋新一、職員7名、(事務局)コンサルタント4名
コーディネーター	神戸まちづくり研究所 辻信一、東末真紀
資料	資料-1 第2回公園緑地部会議事録

○ 第3回中央公園計画づくりワークショップ概要

1. 前回の振り返り及び情報提供 (コーディネーター辻氏)

<第2回公園緑地部会の振り返り>

- ・前回の公園緑地部会の内容について、議事録等により説明。
- ・前回の検討では、中央公園は閉上の中心となる場所で、いろんなテーマに取り組む場所でもあり、親しみある地域コミュニティの場所として多くの世代が集う場所ということだった。
- ・具体的には、地区民運動会、お祭り、芋煮会などのイベントを中心として、地域でみんなで何かをする場所であり、コミュニティを育む場所という話であった。スポーツ、子育て、生徒や学生のたまり場、災害時の避難場所としても大事であり、小中一貫校の防災拠点との連携を通じて全体の防災計画を検討するべきという意見が出ていた。
- ・感覚として、食事関係の話が多かったような気がする。
- ・11月7日に行われた第2回新閉上公民館ワークショップについて、協議会代表針生氏から、概要を説明していただいた。

<代表世話役より第2回公民館ワークショップの報告>

- ・第1回目でだした意見を事務局が絵に3案作成してきた。それに対して、いいところ、悪いところの意見を出した。
- ・具体的には、建築物としては3階建を基本とし、屋上にテラス、非常時の拠点でもあり、2階には図書館、1階には多目的ホール、体育館、ロビー、カフェ、キッズコーナー、ウッドデッキなどを設置するとしている。
- ・4つのグループで議論し、公民館の建屋については、敷地の北側に東西方向で立てるべきとの意見があり、名取川の氾濫に対応した河川とおなじむきの東西方向に長くつくることが提起された。一方、グラウンドは遊具を置き、水のスペースなどの設置も提案があった。
- ・代表世話役として協議会では、グラウンドをできるだけ大きな空間として確保する方向で検討しているという意見は提案した。今後は、公民館ワークショップと融合しながら、一つの敷地で検討していったらよいのではと思った。
- ・建屋には非常階段が外階段として設置するとしている。B案では、建物は南北に長い形を提案しており、屋上への避難用のスロープも設置している。ただし、傾斜がきつく、車椅子は無理とのこと。

< 関上公民館事務所長の報告 >

- ・ 図面の計画サイズはデフォルメされており、大きすぎるイメージ。市内の公民館は大体 1000 m²前後であり、ファシリテータの先生も 1,500 m²ぐらいといていた。見えない高齢者向けに大きめに表現している。3 案のどれを中心ということではない。今後、意見を集約してまとめて行きたい。

辻氏：公民館側では遊具と親水空間の設置を提案しているが、公園緑地部会でも異論がでないこともあるので、全体のなかで本日検討してもらったらよい。また、遊具が必要か、その遊具に利用対象者はだれか、対象者によって大きさや設置場所も違うはず。公民館 1 階のキッズルームと遊具の近接など、工夫がされている案もある。案の中には、体育館が公園に侵食しているものもあり、レイアウトは公園を含めて拡大して検討している。

代表世話役：新関上公民館は、多く世代の人が立ち寄りやすい公民館が基本であり、赤ちゃんから、中学生、高校生などの様々な世代を対象とした遊具を置くことは不可能だろう。

辻氏：スプリング遊具ぐらいが多世代の共通遊具であるとおもうが、どんな施設を作っていくかが重要である。本日は、震災前最後の地区民運動会の写真があり、走るトラックの状況、その周辺に各町会のテントが配置、フィールドは開会式なども開催していることが分かる。トラック 200m ぐらいということで、2 案紙で作成し、紐が 200m を再現したものであるので、それらを活用して検討してほしい。写真では 6 コース程度であり、コース幅は 5m 程度だと思う。地区民運動会の開催が基本とすると、できないと方針がぶれる。その空間を先に配置し、そのあとに周辺施設を検討して欲しい。

2. 中央公園をデザインする。(簡単起こし絵模型作り)

- ・ A と B の 2 つのグループに別れ、きり絵、マジックで作成ワークショップを行った。

< 模型作りの際での意見等 >

A グループ

- ・ 200m のトラックは入らない。
- ・ 140,50m のトラックかもしれない。
- ・ 緑道側には緑はいらない、広場が広く見えるように、道路側に植樹をしたらよい。
- ・ 西風への対応も必要、遊具は公民館敷地に配置したらどうか？ ボール遊びのレベルを決める必要がある。
- ・ 公民館の建物は東側、駐車場は西側とすべき。
- ・ 雑草の管理など維持管理を徹底すべき。



Bグループ

- ・ **140m**トラックとして、**10m**のバッファを確保。周辺に植樹したよい。
- ・ 防火水槽の設置も必要だろう。



3. その他

<次回部会>

- ・ 次回公園緑地部会は、12月23日（日）14時とする。

○グループ別ワークショップの詳細

- ・ AとBの2つのグループに別れ、簡単起こし絵模型づくりワークショップを行った。

（Aグループ）テーブルコーディネーター1名、参加者4名

（Bグループ）テーブルコーディネーター1名、参加者7名

<簡単絵起こし絵模型作りグループ別ワークショップ> （コーディネーター辻氏）

- ・ トラックの大きさを実際に紐を切って設定しつつ、周辺の施設の材料を切り出しながら、各グループで施設配置案を作成した。

<グループ別発表>

（Aグループの主な内容）

発表者：宇佐美

- ・ 地区民運動会のトラックは、**140m**から**150m**程度で、**200m**はとれない。
- ・ 公民館のウッドデッキ前を本部、イベントの場合、公民館のトイレも使う。災害用の簡易トイレを公園に設置、運動会のときにも使う。イベント時に避難訓練も同時に行うなどの工夫により、簡易トイレの使い方を知ることも重要。
- ・ かまどベンチも災害用だけの利用でなく、イベント時に利用方法の学習もかねて使用するべき。
- ・ 駐車場はイベント時にたりないので、緑道にも出来るようにしたい。
- ・ 遊具は、いらぬ。おこならば、公民館に置けないか？
- ・ ボール遊びについては、あくまでもソフトなものできるように、自由度は持たしておきたい。
- ・ 災害用の倉庫は公民館に設置、公園の維持管理のための倉庫は必要。
- ・ 西風に対応して、居久根のように緑を設置、緑道側は高い木はやめ、広く見えるようにしたい
- ・ 東屋、水のみ場は緑道利用者も使えるように、南側に配置したほうがよい。
- ・ 駐車場は公民館の西側に配置し、南側向きにしたい。公民館の建屋は東西に長い方向で検討すべき。
- ・ **WIFI**の設置については、公園全体で利用できるようにしたい。

- ・緑道のグラウンド側は木を設置しないように、広めに見えるようにしたい。

(Bグループの主な内容)

発表者：上畑

- ・グラウンドの形状をしっかりと議論し、**140m** ぐらいのものとした。
- ・防球ネットを東西側に、緑道側は植樹したら良い。
- ・東屋を**4** 隅に設置した。
- ・北側を空ける形で、公民館と体育館を東西方向に配置、15mの緑道との一体性は配慮すべき。

<総評> (コーディネーター辻氏)

- ・A, B 共にトラックの範囲は一致している。
- ・南側の緑道との一体性や西風などへの対策などについては、両グループともイメージは一致している。
- ・ボール遊びの想定だが、この規模だとどういふものかを考えないと問題となる。バックネットの設置や防球ネットの設置についても検討課題となる。
- ・ある程度のボールゲームは出来るようにすべきだが、公式試合が出来るような話ではないと感じる。
- ・公民館との関係について、トイレについては、24時間利用可能なトイレをつくれば、両方に作ることはない。維持管理効率も高くなる。災害時の備蓄倉庫は公民館に設置、公園緑地の維持管理のための倉庫は公園内に置く。
- ・東西に並ぶのと、南北にならべるのは、駐車場の位置の問題で意見の違いがあり、形状的にAグループは西側、Bグループは公民館で駐車場と公園は分断されている。
- ・西側の駐車場は、幹線道路の交差点付近にあるため、広がり確保できる。
- ・イベント時にも防災用トイレの利用も出来るようにすべきとしており、下水管の枝線があればできる。
- ・イベント時に多くなる駐車対策としては、緑道を使えるようにすべきという意見。
- ・公園と緑道の境には緑はおかないという意見だが、数本の高い木はあってもよい。
- ・東屋はAグループは2箇所、Bグループは4箇所としており、学校近くの公園のときも2ヶ所設置した経緯がある。子供たちのグループ行動など参考にすると、4つぐらいあるといいかも知れないという意見だった。
- ・公民館の建て方の違いと東側の住宅地側の処理をどうするかが課題。
- ・樹林があれば目立たないネットが設置できる。
- ・ソフトボールの飛距離とネットの設置規模などは関係性を配慮したほうがいい。
- ・両側の道路について、歩道のありなしで違うため、どのような緑地帯とするか今後の検討課題。

参加者：広場が大きいと、砂埃の対応を隣接住宅地で対応すべきでは？

辻氏：砂埃対策として、ふちを芝生にするという選択はある。

参加者：芝生はアレルギーを誘発する恐れもあると聞いている。

辻氏：全面芝生ならすばらしいが、1haで年間1000万円程度の維持管理費がかかるらしい。

- ・芝生については、検討課題として、部分張り、全面張りなど、砂埃対策の一つとして検討すべき。
- ・中央公園と公民館は緑道から南北に空間をつらぬくイメージが良いと思う。

参加者：地区民運動会は年に1回しかないので、トラックのない場合のイメージを検討することも重要では？だから、2種類の絵が必要、イベント時と通常時の絵姿を検討すべき。

辻氏：平常時の空間づくりとしては？

- ・地区民運動会では、トラック内での競技もあり、中に何かあるとじゃまになる。
- ・震災前のは、公園と公民館の敷地は分からなかったと聞いているので、今後もその境の作り方が重要。管理者側で協議も必要。緑道側との境もいらいないのでは？

参加者：公民館の周りはアスファルト舗装か？→市役所：まだ、わからない。

辻氏：ゲートボールなどは公民館でやるのだろうか？

- ・来訪者、住民との交流の場としての使い勝手も考えるべき。
- ・来訪者を公園に連れてくるなにかについては、検討が足りない。他の周辺施設との競合を見極めていかないといけない。
- ・公民館への展示から公園利用への誘導もありえる。ギャラリーの設置などは有効ではないか。

辻氏：日和山のほうにも建物が出来るとするとそっちになるのかもしれないし、同じようなものをそれぞれ作るというのはいかがなものかと思う。

参加者：閑上から出て行ってしまった人も立ち寄れる空間づくりが必要。公民館のカフェなど、オープンテラスなどもそういう役割を担うべき。

- ・東屋のデザインや数、オープンテラスにパラソル設置など東屋代わりになるものもイメージできる。
- ・維持管理する人をどう考えるかだが、語り部との連携もありえる。必要ならその空間も確保したらどうか？

参加者：指定管理者制度の適用を考えるべきかもしれない。

市：現在は、街区公園については、地元から市へ状況を報告される程度で、維持管理までは担っていない。

辻氏：今までとは違うかたちで維持管理に取り組むことが重要。

市：相互台地区で自由な利用と維持管理のタイアップで実験的に実施中である。花火やボールゲームなども、地元で検討して欲しいとの話をしつつある中で、閑上でも個々でルール作りをすれば今後展開できる。

辻氏：基本ルールとローカルルールの適用を柔軟に考える必要がある。

参加者：全ての維持管理を住民などに渡して、自由な発想で、おこなえないかと思う。

辻氏：大規模公園で駐車場の運営費で、イベントの開催し、その維持管理の収入源としている例があり、今後、中央公園でも指定管理者でいけるかどうか検討することも考えられる。

- ・任意団体とむずかしいが不可能ではない。

代表世話役：自動販売機の設置を収入源とすることも考えられる。

辻氏：行政は置かない。指定管理者制度なら可能だと思う。

参加者：イベント時の利用料などが収入源になればいい。

辻氏：占用利用における収入源は考えられるが、地区内利用は地区民運動会とかは無料とか、考えられる。

参加者：お金出してもサッカーやりたい人はいる。

辻氏：占用利用は少ないほうがいい。自由利用が原則なので、地域のひとのためのものである。

辻氏：ローカルルールを決めるべきだろう。

参加者：何かのスポーツ大会での利用料なら収入源になるかもしれない。

市：利用方法は条例に決まっているので、公民館では社会教育団体では無料であり、お金をとる方法としては、公園での扱い方や利用者の種別でどう考えるかだろう。

辻氏：事務手続きを行うとなると手間がかかり、人件費も高くつく。神戸では料金の収受は行わないので、会計はない。手間がおおくて地元で対応できないということもある。

- ・これらは、悩みどころだ。まち協だけでは検討できないだろう。
- ・地域の人が盛り上がる場所を確保するには、維持管理は地域の人次第であり、がんばる必要がある。
- ・たとえば、オープニングイベント時に、維持管理には人の力が必要との周知をして、地域の人で支えられる中央公園を作るべきだろう。

PCKK：公民館のワークショップで、水と緑のスペースが提案されているが、どうするか？具体的には、ビオトープのイメージで、新たに出ているのだが。

辻氏：見通しが悪いという問題点もあり、専門家の意見を交えて整理したらどうか？

PCKK：また、夜間の取り扱いとして、照明をつけるかどうか？

参加者：小中学校についてはどうか？7丁目にできる広場も、中央公園との連携の中で、総合的に検討すべき。

PCKK：住宅地内の夜の活用は、いろいろ障害もある。騒音、灯りに対する苦情の問題だ。

市：実際、スポーツ施設周辺の苦情も多い。

参加者：スポーツイベント時には音楽を流すこともあり、声援だけでない騒音問題はある。

辻氏：そのような機能は、七丁目の広場が担うべきではないか？次回の予定は？

代表世話役：公園緑地部会の検討期限が12月までということは、なくなった。年内に結論付ける必要はない。来年の春の定期総会に提案するかどうかだ。

PCKK：公民館ワークショップとの関連性もあるので、中央公園の検討と一本で出したほうが良いとの判断である。ばらばらでは出しにくい。共同提案でいきたいと思う。

辻氏：中央公園はまち協、公民館は市、提案はまち協だが、その内容について整理が必要になる。

市：でてきたものを受け止めれば良いと考えている。

PCKK：3月まで公民館ワークショップが続くため、12月で中央公園を決めるのはやはり違うと判断している。できれば発表のタイミングは一緒にすべきだろう。

代表世話役：市への提案期限に支障がないなら、年度末でも良い。

辻氏：中央公園の基本構想案としてまとめる次回の部会は、公民館が12月5日なので、12月23日午後14:00～16:00とする。

代表世話役：公民館と中央公園の両方を連携ししっかりと作っていきたい。

- ・次回は絵に対して意見をいただくことになると思いますので、あせらずにじっくり考えていきたい。

以上